開催日時	令和7年7月30日(水) 19時30分～
開催場所	オンライン (Zoom)
出席者	山内、森、山本、石橋、落合、藤井、藤、中谷
欠席者	菅野
記録者	石橋
議題 1	理学療法士講習会について
<p>【内容】 助成金事業としての理学療法士講習会。例年11月頃に締め切り。昨年度（今年度開催）は申請できず。 一昨年は「理学療法士のためのマネジメントセミナー」を申請し開催。協会からの指定領域あり。 以下のテーマで申請を検討。 講習会テーマ「様々なフィールドで働く理学療法士」（仮）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ分野で働く理学療法士 ・海外で働く理学療法士 ・企業で働く理学療法士 など	
<p>【決定事項】 上記案に異論は出なかったが、指定テーマとの適合性について検討する必要がある。テーマとしては人材育成、教育に関する意見が多く出た。11月までに講習部部長が発議し検討を進める。</p>	
議題 2	部員の増員について
<p>【内容】 公募を行った結果、5名の応募があり、そこから2名を選出した。</p>	
<p>【決定事項】 臨床、教育分野での人員バランスが取れること、他府県の県士会で活動されていた経験、を理由として事前の部員からのアンケート結果で最も票が多かった方を選出した。</p>	
議題 3	理事会、拡大理事会報告
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務量が多い部署や業務内容が重なっている部署があるため、各部署の業務内容を明確化 ・認定カリキュラムの運営については業務負担を鑑み、それを主な業務として扱う部署を検討 ・基本的理学療法については、今後理事会で整理 ・SNS運用について 	
<p>【決定事項】 SNS運用について、試験的に講習会に関連する情報をインスタグラムで発信して効果判定を行う予定。グーグルフォームで登録する手続きは必要。認定カリキュラムについては、引き続き講習部で進めていく。今年度、次年度の企画は講習部で挙げる。専門部署を立ち上げる提案を行う方向で動いているが人員と運用が課題。</p>	
議題 4	認定カリキュラムの2026年度以降の方針について
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026年度の認定カリキュラムの増加の方向性とその分野について検討。 最少催行人数は超えているが、23名と昨年度と比して伸び悩んでいる状況。受講費20,000円が平均的ではあるが近畿圏でも10,000円以内で開催されている所があり価格競争が課題。今後の分野としては集客性の面で悩んでいるところ。	

【決定事項】 8月末まで受け付け期間を延長する。運動器学会のメルマガに掲載してもらおうよう打診する。HPTAメールも引き続き活用し認定理学療法士カリキュラムという題名で配信することで開封率が上がることを期待する。新たな分野としてはスポーツで検討を進める。認定取得者情報について理事から共有いただく。申請期日が9月末の為、部長と担当部員で個別で相談をして進める。また担当者については業務負担が大きい為、新部員も含め役割分担をする方向で検討する。

議題5 新人対象講習会について

運動器、脳卒中ともに西宮回生病院、甲南女子大学それぞれと業務委託契約を結んだ。運動器については事業計画書が提出された為、LINE WORKSで共有し確認する。脳卒中についても事業計画書が提出され次第共有予定。

【決定事項】

次年度以降、分野を追加する場合、呼吸循環について兵庫医大で開催対応は可能。

議題7 ウイメンズヘルスに関する講習会について

【内容】 公文書の発行済み。Canvaの使い勝手において不自由さを感じる。別の方法で対応できないか。

【決定事項】 部長がベースの雛形を作成して随時変える方向で運用する。フライヤーに記載する内容を担当者から部長に提供する。

議題8 AIに関する講習について

【報告事項】 現在、講師選定を進めている。8月中には決定予定。

【決定事項】 ポイント申請の必要があるため、その点を考慮して条件を満たす形で選定を進める。

次回の予定 日時：

日時・場所 場所：オンライン(Zoom)

今後の予定 認定カリキュラムについて早急に決めていく